

沖縄県本部町へ二千キロの交流

「南の国の真夏に挑む体験の旅」

「友好の町」沖縄県本部町との間で平成3年から行われている親善交流事業は、今年で15回目を数えます。南の国の真夏に挑む体験の旅として、6月27日から7月1日までの日程で本町各小学校の6年生児童27名が本部町を訪れ、南国沖縄の暑さと文化を体験しました。温かく迎えてくださった本部町の皆さんとの思い出を、参加した児童の感想文で紹介します。

「海」の表情



落合小学校6年 初葉 莉菜

沖縄の沢山の楽しい思い出の中で、私の頭の中のどんな記憶よりもはつきりと光っているのは、海の記憶だ。私は、ずっと海を楽しみにして沖縄に来た。

沖縄に着いてから2日目、ホームステイ先の人達といっしょに、船で水納島に向かった。船の横の白く泡立っている波を見ながら、これから行く島の事を想像していた。水納島に着いたら、あまりにも自分の想像とかけはなれていたのが、びっくりしてしまった。私が想像していたのは、人があまりいない自然と海の静かな島だった。でも現実とは違った。私の見える限り全てがビーチになっていて、観

光客でにぎわっていた。私達は、最初に簡単なゲームをしてから海に入った。私は、ライフジャケットを着るのが嫌だったので、はじめてもいいと言われた時は、とても嬉しかった。海は、「さすが沖縄だなあ」と思う温かさだった。ライフジャケットがないので何度も何度も潜って貝を探した。しかし、私の期待を裏切るように、海はにごっていた。目の前で泳いでいる人の足さえ見えないのだ。内心、とてもがっかりだった。沖縄の海はこんなものだったんだ・・・と。

それでも、ナマコを見つけたら、友達と遊んだりして時間はどんどん過ぎていった。休憩の後にまた泳いだら、今度は靴も履かなくていいと言われたので、喜んで履かずに入った。少しして、「ナマコの大群いるよ、見る？」と誘われて、泳いでいっ

た。すると、下が砂ではなく、草みたいな物に変わってきた。そして、下にナマコがいた。しかも、1匹じゃない。ナマコは、踏まれると白い物をはき出すのだが、誰に踏まれたのか白くて細長いナマコがそこらじゅうに群れていた。私は、血の凍る思いだった。靴を履いていないので足をつく事も出来ない。あわてて、反対の方に泳いでいくと、急に水が冷たくなった。前を見ると、水が透き通っていてとてもびっぴりした。まるで、海が私に違う表情を見せてくれたみたいだった。前を見ると、水面の方が青緑で、下にかけてだんだん透明になっていく。下は、死んだ白いサンゴや、砂が続いていて、先の方は白くかすんでしまつのは、もったいないような気がした。そこでも、潜って

貝を探した。小さいけれどきれいで可愛い貝がたくさん見つけた。下に潜ると、体が冷たくて、水面にある足は温かい、不思議な感覚だった。

今、北海道にいる家族に、この南の素晴らしい海を見せてあげられたら・・・と思った。私は、何度も潜って海が私に見せてくれた素敵な表情を頭にしまい込もうとした。海は、やっぱり私の期待にこたえて、沖縄での最高の思い出になってくれた。

「楽しかった沖縄」



金山小学校6年 たいち 太一

僕は、初めて沖縄に行きました。沖縄の第一印象は、やっぱり暑いということ。海の水がすき通るような色でした。僕が沖縄に行くと、思い出に残ったことは3つあります。

1つ目は、シーサー作りです。ねんどと同じだから簡単だと思っていたけど、けっこう難しかったです。シーサーは、家の守り神なので、シーサーが沖縄から届いたらさっそく家に飾りたいと思います。

た事は、ホームステイと美ら海水族館です。

ホームステイでは、伊佐常聖君の家に翼君と泊まらせてもらいました。まず、役場でみんなと解散して常聖君と常聖君のお父さんに常聖君が通っている学校に連れて行ってくれました。そして、純一君と健太君が泊まらせてもらった渡口浩太君達に中を案内してもらいました。最初は、職員室に案内してくれ先生達に感想を四人とも聞かれて僕は、「熱いですねえ」と言う先生達は、笑っていました。それに、体育館にも案内してくれて学校前には、大きな遊具があつてそこで十分ほど遊びました。あと、近くにグラウンドがあつてそこでも遊びました。その後は、浩太君の家でみんなでパーベキューをしました。すっごくおいしかったです。食べ終わったらいき力割りをしました。僕も挑戦しましたがあと少しの所で失敗しました。あと、花火をして最後にみんなで記念写真を撮りました。その後、常聖君の家に行ったらすく、スイカを食べさせてくれておいしかったです。食べてからお風呂に入ろうとしたらお湯がなくてびっくりしま

2つ目は、水納島の水泳体験です。口の中に海水が入ってしよっぱかったけど楽しかったです。ナマコを2回も踏んでしまつて気持ち悪かったし、ナマコが糸を出してそれを取るのがとても大変でした。砂浜にはサンゴがいっぱい落ちていたので足が痛かったです。でも、サンゴはきれいでした。ホームステイの人たちと乗ったジェットスキーは、とても楽しかったです。運転もさせてくれました。「30キロまでとばしていい」と言われましたが、少し怖かったので25キロしか出せませんでした。バウンドみたいに、はねるところがとても楽しかったです。その後に食べたスイカや、かき氷もとてもおいしかったです。

ゴーヤジュースも飲みました。けっこう苦かったけど沖縄の友達に、「おいしいと思えばおいしい」と言ったのでコップ一杯全部飲んでみました。飲んでいる間は、おいしかったけど後味がとても苦かったです。あと、ヤドカリや生きている貝もいました。水納島の人たちは、とてもやさしくて、水泳体験がいい思い出です。

3つ目は、ホームステイです。した。お風呂から上がったらすぐに寝ました。

次の日は、朝食を食べてすぐ役場にむかいました。次は、美ら海水族館です。僕がこの美ら海水族館で印象に残っているのが黒潮の海とイノの生き物達とサメ博士の部屋です。黒潮の海は、世界最大級の水槽で僕は、この沖縄に来て一番、楽しみにしていました。その規模は、深さ10メートル、幅35メートル、奥行き27メートルです。そして、ここでは、ジンベイザメやマンタを見れてよかったです。イノの生き物達の部屋では、小さな海の生き物が自由にさわられていい体験になりました。僕は、ここでヒトデやサンゴをさわりました。次は、サメ博士の部屋です。ここでは、サメのことがなんでもわかり、サメだけの水槽やいろいろなサメの歯がありました。僕は、生き物では、サメが好きなのでここでは、たくさん写真を撮りました。

最後に感想は、一生に行けるかわからない所に行けてうれしかったです。それに、平和資料などの所に行ってきたので、これからの勉強にいかしたいです。

「もわつとした沖縄」



幾寅小学校6年 奈緒美

「いつてきま〜す。」1週間前から行きたくて、行きたくて、そわそわしていた。それが6月27日、ついに沖縄旅行。嬉しくて、飛行機では、一睡もしませ

んでした。初めての飛行機を降りると動く歩道は、本当に動いたので、ちょっとびっくりしました。私は沖縄に行くと、楽しかった事は、3つあります。

1つ目は、マリンスポーツです。バナナボートは、海水が目に入ると、とても痛かったです。でも、スピードがあつてとても楽しかったです。もう1つのマリンスポーツは、「サバナ」と言う船に乗りました。イクコで、腕が痛くなったけど楽しかったです。

2つ目は、美ら海水族館で大きなジンベイザメや北海道では見られない魚がたくさん見られた事です。サメの歯や肌の標本もありました。午後3時頃に魚たちのエサやりがありました。エサは、小魚と小さなエビと肉のかたまりでした。大きなジンベイザメは、肉のかたまりを食べると思ったら、小さなエビを食べていました。その後は、外でイルカのショーがありました。水しぶきが飛んで来て、すごかったけどとても可愛かったです。あと、マーマイド（人魚）のモデルとなった、マナティーも見ました。足の方が本

当に、人魚みたいでした。私

「南の国の真夏に挑む体験の旅」



幾寅小学校6年 裕馬

僕は、6月27日に沖縄に行きました。沖縄に行くと、楽し

かった。沖縄に行くと、楽し